

通信 50000年



ちばあきお

原始時代

符号や絵による通信

簡単な符号や絵の形に意味をもたせ意図を伝えた



原始時代 身ぶりや言葉による通信 近い距離では 身ぶりや言葉で意思を伝えた



B.C.1150年

タイマツ通信

トロイ戦争当時、ギリシャ王アガメムノンがトロイ城の陥落を「山から山へ」タイマツを頼って女王に伝えた



B.C.600年

伝書鳩による通信

ギリシャの恋愛詩人アナクレオンは 愛の使いとしての伝書鳩に讃歌をよせている



紀.C.490年 太陽光線(反射鏡)による通信

ギリシャのアテネが シバの大軍と 大決戦したとき 太陽光線を鏡で反 射させて信号を送った



B.C.300年

ラッパによる通信

アレキサンダー大王は、ラッパによって命令伝達を行なった



710年 ほら貝による通信

奈良時代から 山伏がほら貝を祭文の伴奏や進退の合図に使った



1281年 ケムリ通信

蒙古来襲のとき 北條時宗は博多湾から鎌倉まで狼煙(ノロシ)を
次が次々にリレーして知らせる通信を制度化した



1663年 飛脚による通信

江戸—京都—大坂を月に二度 一般の人びとの通信を扱う
“三度飛脚”が公認された



1690年 旗振通信 幕府・紀ノ国屋文左衛門は 江戸で旗を振り米相場の高値を知らせた



1791年 腕木通信

フランスのマセップ兄弟は、人間の腕のようにいろいろな角度に屈伸する二つの腕木を、高い柱の先端にとりつけ、その屈伸の変化によって意味をかわし、遠方から望見して通信した。



1837年 電信機誕生 アメリカ人・モールズが発明した

テレトピアに生きる

——こうなる未来の電信電話——

急速な情報化社会への移行とあいまって、電気通信は国境、産業や経済の世界で果たした役割をさらにひろげ、人間性の回復と集まりの充実を断つ重要な課題として発展する。そして、理想のテレトピアが実現する未来社会——テレトピアは、すでにほじまっている。

(出席者)

岡部 冬彦

(司会者)

都筑 道夫

(作家)

向坊 隆

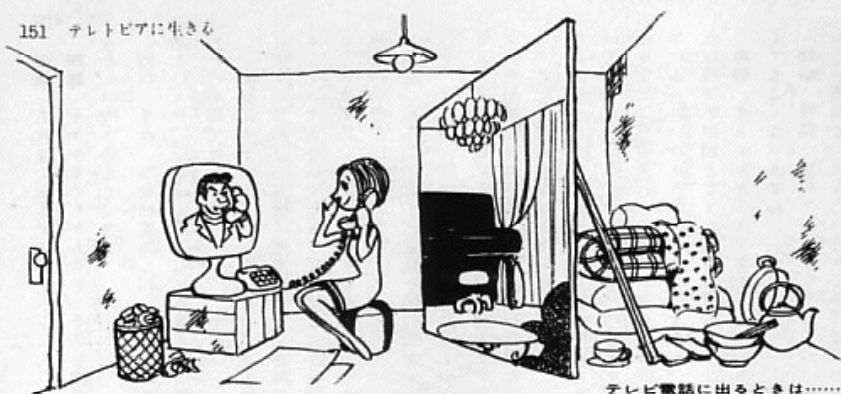
(東京大学工学部教授)

井上 俊雄

(日本電信電話公社顧問)

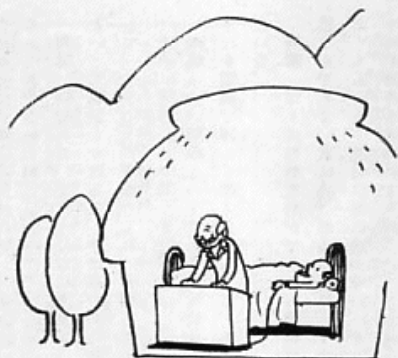






テレビ電話に出るときは……





医療用通信システム